

防災講演会

東日本大震災発生から9年が経とうとしています。
今回は東日本大震災の経験を生かし、今後、発生が懸念されている南海トラフを震源域とする巨大地震から一人でも多くの命を守り、家族と地域を守るために私たちがなすべきことを一緒に考えてみませんか？

東日本大震災に学んだこと マグニチュード9の脅威

と き **2月15日** 土

午後2時～3時30分

とこ 文化センター

講師 災害伝承10年プロジェクト語り部

山田 修生氏

入場
無料

申込
不要

直接会場に
お越しください。



プロフィール

東北防災安全研究所代表 宮城県防災指導員
仙台市地域防災リーダー 総合防災アドバイザー 社会貢献活動支援士 防災士 仙台市在住
東日本大震災当時、仙台市で自らも被災を経験。全壊したマンションの住民の避難誘導および残留者の安否確認、避難所開設・運営、地域の一人暮らし・要配慮者の避難確認と支援活動などに携わる。その後、被災者生活再建支援員として、被災者の方一人ひとりに寄り添いながら支援を続けてきた。現在、総務省消防庁長官より委嘱された「災害伝承10年プロジェクト語り部」として、全国各地で実体験をもとに講演を行っている。

Jアラート情報伝達訓練

Jアラート(全国瞬時警報システム)を活用した全国一斉情報伝達訓練にあわせて、町でも緊急情報伝達のための訓練放送を行います。町内13か所の屋外拡声機のほか、家庭用の同報無線戸別受信機、防災ラジオから訓練放送が流れます。皆さまのご理

解とご協力をお願いします。

■Jアラートってなに？

国が送信した弾道ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報などが、市町村防災行政無線などを自動起動することにより、国から直接住民に対し緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

■全国一斉情報伝達訓練

●と き

2月19日(水) 午前11時頃

●放送内容

「これは、Jアラートのテストです」×3回

「こちらは、こうほうひがしうらです」

●問い合わせ 防災交通課 内線259

いざという時の 防災情報について

防災情報はどのように知ることができる？

自然災害による被害を軽減するため、さまざまな防災情報が発表されています。いざという時「自分の身を自分で守る」には、日頃から、必要な防災情報と災害に対応した行動を確認しておくことが肝心です。

今回は地震や大雨の際に、気象庁や町が発信する防災情報を入手する手段についてご紹介します。

手段	情報内容					
	気象警報 など	避難勧告 など	避難所 開設状況	水位情報 (河川監視カメラ)	緊急地震 速報	うらら 運行情報
テレビ	○	○	○	×	○	×
町ホームページ	○	○	○	○	×	○
S N S (Twitter・Facebook)	○	○	○	×	×	○
携帯電話(緊急速報メール)	×	×	×	×	○	×
携帯電話(登録制メール) ちたまる安全安心メルマガ	○	○	○	×	○	×
防災ラジオ	○	○	○	×	○	○

町ホーム
ページ

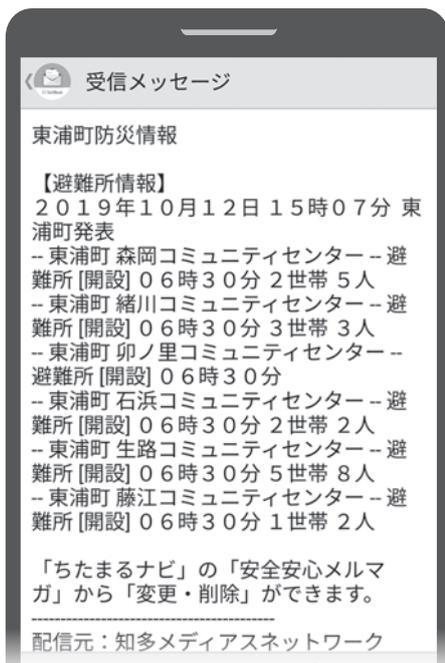


ちたまる安全安心 メルマガ登録方法

登録はこちら



- ①QRコードまたは「ちたまるナビ」ホームページから登録
- ②「登録メールアドレス確認」が登録したメールアドレスに送信される。
- ③受け取ったメールのURLをクリックして登録完了



TwitterやFacebookでも配信



防災行政無線の更新にあわせて 令和2年12月頃に防災ラジオを販売予定

- ・町防災情報などの放送の受信
- ・AM・FMラジオ放送の受信
(同報無線が放送されると自動で切り替わります。)
- ・LEDライト装備 など



●問い合わせ 防災交通課 内線235